



～データの価値を解き放ち、医療を変革する～

日時 2025年3月28日 (金) 12:30～13:20

会場 第14会場 (パシフィコ横浜 会議センター 4階「418」)

座長 芦原 貴司 先生

滋賀医科大学医学部附属病院 情報総合センター教授/医療情報部長/マルチメディアセンター長

演題 心電図自動解析の精度・前回心電図との比較の重要性

六尾 哲 先生

岸和田市民病院 中央検査部 技師長

演題 心電図の自動解析所見の現状と問題点

藤野 紀之 先生

東邦大学医療センター大森病院 循環器内科 准教授

参加申し込み

・ランチョンセミナーは整理券制です。

【事前予約】

- ・事前予約期間: 2025年1月24日(金)～3月14日(金) 17:00まで(予定)
- ・事前予約をされた方は、お申込みされたセミナーが印字された参加証が発行されますので、ご入場の際にご提示ください。

【当日申込】

- ・当日お申込みも可能ですが、セミナーはお申込み可能な数に限りがございますこと予めご了承ください。



Facebook
GEヘルスケア・ジャパン公式アカウント
<https://www.facebook.com/gehcjp/>





データの価値を解き放ち、 医療を変革する

〈抄録〉

六尾 哲 先生 岸和田市民病院(中央検査部 技師長)

診断、治療、業務改善において、検査技師の視点から考えてみました。なぜデータをサーバーに集めるのでしょうか？ データを紙で収集し、手間やコストを削減し、時間を短縮するだけで良いのでしょうか？ また、どのデータが本当に重要で、何が問題となるのか、そして将来に向けてどのデータが役立つのか、考えてみる必要があります。

データ収集の意義や選別の必要性、そして医療の質向上への貢献について考察します。データはただの情報ではなく、患者の健康を支える鍵となることは間違いありません。

藤野 紀之 先生 東邦大学医療センター大森病院(循環器内科 准教授)

現在、心電図解析の自動化は医療現場で重要な役割を果たしていますが、その現状には問題点も存在します。心電計の自動解析の精度や有用性、そしてそれによって生じる課題に焦点を当てます。

自動解析は本来、循環器医師や検査技師の負担を軽減し、効率的なワークフローを可能にします。しかし、現状ではQT間隔などの測定値が一致しないことや、結果の解釈に誤解が生じることがあります。また、編集の必要がある場合、医師や検査技師の手間が増え、ストレスと時間の圧迫につながると考えています。

自動解析の結果が循環器医師と検査技師の作業負担にどのように影響するか、また心電図解析の信頼性と効率性について改めて考えていきたいと思っています。



GE HealthCare